

# 夕暮れ

詞・曲 カイン

いつも心は満たされないまま 時間ばかりが過ぎてゆく  
夢は はかなく消えるけど 想いはいつまでも残るから

空を舞う鳥のように <sup>ゆ</sup>どこまでも行けるよ、きっと

秋の甘い香りの中で 心の居場所を探してる  
遠い世界を想い描けば いつでも風を感じられる

向かい風?それとも送り風? ここだと思える日まで吹いていて…

ああ 窓の外で 景色は移ろいゆく  
思い出にもかわらない 一人でたたずむ空は

今という時を <sup>い</sup>ずっと忘れたくない  
<sup>たれ</sup>星の出ずる空 <sup>し</sup>誰ぞ識らない街角

夕暮れの空を見上げてみれば  
夜への不安と寂しさの奥に  
<sup>あす</sup>明日への青い希望を隠してる

僕達は 一人さまよい歩いても 同じ星を見つめてる

ああ 風と共に 景色は移ろいゆく  
思い出にもかわらない 一人でたたずむ空は

今という時を <sup>い</sup>ずっと忘れたくない  
青く霞む希望が信じられる日のために

手をあたためた熱い吐息が 何かを思い出させようとしても  
ういた心は やる瀬なく 流れ着けもしないままに

せつなさの夕暮れ 心の迷い  
<sup>あした</sup>明日へ手をさしのべてみるけれど…

ああ なすすべもなく 時を見送っている  
確かな約束の一つさえ 手に入れられないまま…  
ああ それでも鼓動は 胸の中で熱く響く

晴れ渡る予感も 不安に打ち消され  
今 どこにいるのかも 分からなくなる

星の瞬く空 君を想う 街の角で